

2. 厚生労働科学特別研究事業

厚生労働科学特別研究事業
所管課：大臣官房厚生科学課
<p>①研究事業の目的</p> <p>国民の健康生活を脅かす突発的な問題や社会的要請の強い諸課題について、緊急に行政による効果的な施策が必要な場合、先駆的な研究を支援し、当該課題を解決するための新たな科学的基盤を得ることを目的とする。</p>
<p>②課題採択・資金配分の全般的状況</p> <p>別添参照</p> <p>採択にあたっては、公募は行っていないが、事前評価委員会における評価を踏まえ、課題配分額の設定基準を基に配分することとしている。</p>
<p>③研究成果及びその他の効果</p> <p>緊急性の高い研究課題に関して、期待された知見が提供された。たとえば、アスベストに関する研究では、石綿曝露を受けた労働者に対する健康管理の在り方、早期診断に必要な検査項目、有効な治療法、将来予測等の成果が得られた。また、C型肝炎対策の一環として、エビデンスに基づく診療ガイドライン及び治療の中断防止ガイドラインを策定する等、医療現場のニーズに対応した実効性の高い研究成果が出ている。さらに、今後、必要性が高まると予測される臨床研究登録制度についても、発展的な提言を得る等、行政施策と関連性の高い有効な成果を多く得ている。</p>
<p>④行政施策との関連性・事業の目的に対する達成度</p> <p>研究期間は1年以内の研究であるが、行政施策と関連性が高く、かつ、緊急性の高い行政課題を科学的な観点から解決するため、極めて必要性が高い。</p> <p>本研究事業の成果は、各部局における審議会等の基礎資料や、臨床現場で有効に活用されており、事業の目的に対する達成度は高い。</p>
<p>⑤課題と今後の方向性</p> <p>国民の安心・安全な健康生活を脅かすような健康危機管理上の緊急課題については、これまで通り迅速に対応する。また、各部局との連携を一層密にし、厚生科学研究事業を効率的に進めるとともに、質の高い研究成果が得られるよう支援していくことが望まれる。</p>
<p>⑥研究事業の総合評価</p> <p>緊急性の高い諸課題について、効果的・効率的に事業が実施されており、必要性は極めて高い。今後とも、一層の予算確保に努めると共に、行政的に重要な研究を、適切に実施する体制とすることが望ましい。</p>

<II. 厚生科学基盤研究分野>

厚生科学基盤研究分野は、臨床に直結する成果が期待できる基盤研究に対して補助することを目的としている。厚生科学基盤研究分野は、「先端的基盤開発研究事業」と「臨床応用基盤研究事業」から構成されている。

研究事業	研究領域	17年度予算額（百万円）
3. 先端的基盤開発	ヒトゲノム・再生医療等	3,598,116
	疾患関連たんぱく質解析	660,676
	萌芽的先端医療技術推進	3,130,327
	身体機能解析・補助・代替 機器開発	1,113,045
4. 臨床応用基盤	基礎研究成果の臨床応用 推進	1,004,483
	治験推進	1,082,000